



追手門学院中・高等学校、追手門学院大手前中・高等学校

両中・高創立 60周年記念 合同フェスタ

ご報告

追手門学院両中・高の創立60周年記念として、去る6月24日、大阪市中央体育館(大阪市港区)にて、創立60周年記念 合同フェスタが開催されました。

両中・高創立60周年記念事業のスローガンは「歴史(れきし)環(めぐ)りて 共に創造」となっており、「協力・絆・感謝」のタイトルの下、プログラムが進められました。開会式では、ソルジャーズのチアリーディングによるオープニングセレモニーが盛大に行われ、両校の校旗が共に掲揚され、両校より選抜の吹奏楽チームの演奏にて共に校歌を齊唱しました。

大木理事長、竜田学院長に続き、川原山桜会会长が挨拶され、両校生徒代表の挨拶・選手宣誓へと続きました。その後、両校の運動会で行われている種目を、両校の生徒が互いに競い合っていました。

昼食後には、両校の教員による対抗リレー、教職員・卒業生・保護者による綱引きが行われ、両校のクラブ対抗リレーへと続き、会場はたいへん盛り上りました。

続いて、両中・高の卒業生によるトークショーが、同じく卒業生である 洪 明花氏(大中高37期)の司会により開催されました。元スキーオリンピック選手 中西 拓氏(茨高38期)、朝日放送の番組に料理講師として出演されていた山田 興助氏(大高28期)、吉村運送社長 吉村 健吾氏(小82・大中高25期)、本龍寺副住職 土畠 純子氏(茨高25期)の4名が在校時代の姿や現在に至るまでの思いなど、両中・高在校生の代表よりの質問に答えながら進められ、全てのプログラムが終了しました。

広報委員 永田 久史(大中高30期)

歴代校長先生からのお祝いメッセージ



想い出

荒西 昇

(大手前中高・昭和48年～51年)

追手門に就職したのが、昭和26年4月でした。当時の生活は、24時間学校で過ごしていました。午前中の1時限目から午後の6時限までは教室で、放課後は運動場でクラブ活動をし、そして、日が暮れてからは将棋で時間を潰す。夜は宿直室で就寝するといった具合で、学校内での生活が楽しくて楽しくて仕方ありませんでした。従って、家に帰ることは殆どなく、文字通り学校での生活が主でした。今想うと、懐かしい思い出でいっぱいです。

川口 正弘
大室 勝一
笠井 和憲
黒田 安彦

大手前中高
14期



卒業生の方々からも
素敵なお祝いの花束を
たくさんいただきました。



私の忘れがたき 思い出

山本 治之

(大手前中高・平成2年～6年)

在職当時の想い出として一番印象に残っている学年がある。それは、18期生である。中高一貫態勢が出来た第1期生であり、私が中学から高校の6年間、担任を務めた学年であり、想い出がいっぱい詰まった学年でもあった。彼等はやんちゃもしたけれど、勉強・クラブ・体育祭・文化祭等、総てのものに一生懸命取り組み、そこから友情が芽生え、やがて家族ぐるみのお付き合いにつながっている者も少なくない。驚くことに、現在も電話連絡を取り合い、悩み、苦しみ、悲しみ、楽しみを分かち合っている話を聞くと、誠に羨ましく思う。また、こんな素晴らしい学年を6年間受け持つことが出来た事は、教師冥利につくる次第である。